

プジョー 208 GTi、全日本ラリー選手権第9戦でクラス2位を獲得  
 ～ 集大成のラリーを堅実に走り切り表彰台を獲得 ～

プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社が販売するプジョー 208 GTi が、2017年全日本ラリー選手権第9戦「新城ラリー2017」に参戦。第5戦モンレー2017 in 孺恋以来の参戦となった柳澤宏至選手は、終始安定したペースで走り切り、JN5クラス2位で表彰台を獲得しました。

最終戦となる第9戦は、愛知県新城市周辺のターマック路(舗装路)を舞台に開催されました。第7戦のラリー北海道で、208 R2 がダメージを負ってしまったため、「ラリープラス・クスコレーシング・ラリーチーム」は2015年の全日本ラリー選手権に出場していた208 GTiでJN5クラスにエントリー。柳澤選手はパワーで勝るライバルを相手に、確実なドライビングで対抗。曲がりくねった路面に多くのドライバーが苦しむなか、初日をクラス4番手で終え、最終日に順位をふたつ上げて2位表彰台を獲得しました。

プジョー 208 GTi ドライバーのコメント

柳澤宏至選手(ラリープラス・クスコレーシング・ラリーチーム) JN5クラス 2位

「厳しい場面もありましたが、最終日にライバル選手がミスしたこともあり、2位まで順位を上げることができました。プジョー 208 GTi は2015年まで使っていたマシンということもあり、何も心配することなく運転できました。スタートの段階でセッティングがしっかり決まっていたので、最初から攻めることができた点も大きいですね。208 GTi はターボならではの太いトルクがあり、滑りやすい林道などでも回転数を落とすことなく走ることができます。さらにボディ剛性も非常に高く、コーナーが続く場所でも安心感がありますね。ラリーのように厳しい環境では、このしっかり感がアドバンテージになると、あらためて感じました」

全日本ラリー選手権第9戦「新城ラリー」リザルト

クラス/クラス順位	ドライバー/コ・ドライバー	車両	合計タイム
JN5/1位	小濱勇希/馬場雄一	シトロエン DS3 R3-MAX	1:10:56.4
<b>JN5/2位</b>	<b>柳澤宏至/加勢直毅</b>	<b>プジョー 208 GTi</b>	<b>1:12:33.7</b>
JN5/3位	眞貝知志/安藤裕一	アバルト 500 ラリー R3T	1:12:38.8
JN5/4位	大橋逸夫/松本優一	MINI ジョン・クーパー・ワークス	1:15:50.9
JN5/5位	竹岡圭/佐竹尚子	アバルト 500 ラリー R3T	1:29:19.5



ラリープラス・クスコレーシング・ラリーチーム: 柳澤宏至選手(左) / 加勢直毅選手(右)

## Press contacts

<http://www.peugeot.co.jp>

プジョー・シトロエン・ジャポン 広報室 TEL:03-6412-7362 [publicity@peugeot.co.jp](mailto:publicity@peugeot.co.jp)

一般からのお問い合わせ先 : プジョーコール TEL:0120-840-240

リリースダウンロード: <http://press.peugeot.co.jp>

資料・画像ダウンロード: <http://press.peugeot.co.jp/permitted/document/>

## PEUGEOT

顧客へのブランドのコミットメントは、爽快で情熱に満ちたドライビング、個性的なデザイン、そして妥協のない品質を示しています。これらの DNA は、プジョーの全てのモデルに注がれています。世界 160 カ国で 1 万を超える拠点を展開するプジョーは、2015 年世界販売において 4.6%アップの 171 万台に達しました。プジョーは世界へ向け多彩な商品をもつ確固たるトップブランドを目指し、緻密なデザイン、スピード、そしてエキサイティングなフィーリングを融合しています。1889 年に始まったブランドに息づく自動車の歴史は、本年ダカールラリーにおける 3008 DKR の歴史的な 1-2-3 フィニッシュによって新たな栄誉を獲得いたしました。

## MOTION & EMOTION

プジョー・シトロエン・ジャポン 広報室  
PEUGEOT CITROËN JAPON CO., LTD.